



sora かさいで「特攻」資料展示

第二次世界大戦中、鶉野飛行場から飛び立った特攻隊員らに関する資料展示が「sora かさい」多目的室で開かれ、白鷺隊員が残した遺書や当時の住民の様子を描いた絵などが紹介されました。訪れた夫妻は「こういった資料を見ると胸が痛くなる。今生かされている自分たちは感謝しないと」そう言って会場を後にしました。



青野原俘虜収容所写真展を開催

ももこの11(富合地区ふるさと創造会議)主催(共催:青野原俘虜収容所跡保存会)で、『ドイツ、オーストリア=ハンガリー兵捕虜と地域社会との交流』をテーマに写真展が開催されました。期間中、青野原楽団による演奏会、大津留厚氏による『捕虜として青野原を生きる』の講演会があり、100年前の俘虜たちに想いを馳せました。



キックボクシング 兄弟で活躍

久保田威風くん(13)と天空くん(12)が、9月に行われたネクストレベルキックボクシング中四国地区の体重別で優勝し、来年2月に日本統一戦への出場が決まりました。「絶対に優勝します。皆さん、応援よろしくお願いします」と力強く答えてくれました。



九会地区で作った環境ツリーが点灯

12月3日(土)鶉野飛行場跡で、九会地区ふるさと創造会議が呼びかけ回収した約2,000個のペットボトルで作ったツリーの点灯式が行われ、作成には地域のボランティアに加え北条高校生も参加しました。点灯式には多くの子供たちが集まりペットボトルに願いごとを書きました。



「新米食べて」AFK こども園にお米を寄贈

市内の認定農業者で結成する「アスリートファーマーズ加西(AFK)」が、市内のこども園に収穫した新米420kgを寄贈しました。お米を受け取ると園児たちは大きな声で「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えました。寄贈されたお米は、それぞれの園の給食に提供されます。



賀茂小 お米の栄養素学んで試食会

賀茂小学校4年生15人が、米の表面にある色素の効果や米に含まれる豊富な栄養素などについて学びました。その後、ニンジンやサバ缶などが入った「7色の炊き込みご飯」を作って試食しました。三枝ひよりさんは「お米は万能な食べ物。残さずに食べます」と満足した表情を見せました。



北条小 城山に手作りの鳥の巣箱設置

北条小学校3年生75名は、総合学習の一環で地域の自然環境について学ぶため、小谷城跡保存会の方の協力のもと、城山に野鳥を呼び込むための巣箱を製作し設置しました。藤岡芽依さんは「野鳥がいっぱいきて、登山客にも喜んでもらいたいです」と期待を寄せました。



華麗！宇仁小に伊勢大神楽がやってきた

神楽は、約600年の歴史を持つと言われており、宇仁地区では毎年10月下旬から11月上旬に、各家庭や企業を訪問しています。今回、神楽を見たことがない児童にも伝統文化に触れてもらおうと地域住民が企画しました。獅子舞や曲芸の披露に、岡田颯真くんは「迫力がすごかった。掛け合いも面白くてあつという間だった」と話してくれました。



学校給食に「山田錦せんべい」が登場

11月8日、「いい歯の日」にちなみ、しっかり噛んで食べる献立として「山田錦せんべい」が登場しました。加西市では、地元食材を多く使った給食の食材選びに取り組んでおり、食育の一環として、合名会社アリモト様より提供されました。甘中さん(泉小3年)は「せんべいは大好き。サクサクした食感でおいしかった」と話してくれました。



光で鮮やかに 五百羅漢紅葉ライトアップ

11月21日、五百羅漢紅葉ライトアップが開催されました。訪れた人々は、ライトアップされた紅葉と羅漢石仏、そして、市内活動団体によるミニコンサートを楽しみました。拝観者のひとは「音楽と境内の雰囲気がよく合っていた。来年も来ます」と笑顔を見せてくれました。



羅漢寺ミニギャラリーで作品展示

北条小学校5年生68名が制作した「らん版画」と石彫体験ワークショップ参加者たちが制作した「羅漢石仏」の作品展が羅漢寺内ミニギャラリーで同時開催されました。作品を初めて見たという市外からの男性は「境内の羅漢さんとはまた違う。よく出来ていてすごいですね」と感心した様子で話しました。



佐谷町いきいき体操「元気な100歳目標に」

健康長寿を目指して実施している「佐谷町いきいき体操グループ」が今年で活動5年目を迎え、同町公会堂で記念イベントを開催しました。医療技術者による講話、ビンゴゲーム、会食と楽しい時間を過ごしました。楠田久代さんは「あつという間の5年間でした。これからも足腰を鍛えて、健康で長生きできれば」と笑顔で話しました。

